

*Galium elegans* f. *glabriusculum* の提唱 (大場 秀章)

Hideaki OHBA : *Galium elegans* f. *glabriusculum*, a New Combination.

I published a key to the east Himalayan species of *Galium* (Ohba 1989), in which *G. elegans* Wall. ex Roxb. var. *glabriusculum* Requier ex DC. was tentatively treated as a form of the species, though Cufodontis (1940) and Hara (1979) regarded it as the variety. In *G. elegans* the density of hairs is variable and does not show geographical cline nor stableness within nearby localities.

*Galium elegans* Wall. ex Roxb., Fl. Ind. 1 : 382 (1820) ; Cufodontis in Oesterr. Bot. Zeit. 89 : 228 (1940) ; Hara in Hara et al., Enum. Flow. Nepal 2 : 201 (1979).

f. *glabriusculum* (Requier ex DC.) Hara ex H. Ohba, stat. nov.

*G. elegans* Wall. ex Roxb. var. *glabriusculum* Requier ex DC., Prodr. 4 : 600 (1830) ; Cufodontis, op. cit. 229 ; Hara, op. cit. 201.

ネパール産ヤエムグラ属の検索を発表したとき、これまで標記の種の変種とされてきた var. *glabriusculum* Requier ex DC. はその極端な一型に過ぎないと考えられたので、品種として扱う提案をした。

## Reference

Ohba H. 1989. Key to the east Himalayan species of *Galium* (Rubiaceae). Newsletter of Himalayan Botany, No. 6, 7-9.

(東京大学総合研究資料館)

## アリサンアイ, オキナワスズムシソウ, セイタカスズムシソウについて (山崎 敬)

Takasi YAMAZAKI : On *Strobilanthes flexicaulis* Hayata, *S. tashiroi* Hayata and *S. glandulifera* Hatusima.

台湾から琉球列島にかけて非常に近縁の3種類が報告されている。1915年に台湾の阿里山からアリサンアイ *S. flexicaulis* Hayata が報告された。その後1920年に台湾の台東省から *S. prionophyllus* Hayata が書かれたが、これはアリサンアイと異ならないのでその異名として扱われていて問題はない。同時に沖縄本島の北部からオキナワスズムシソウ *S. tashiroi* Hayata が報告された。アリサンアイが琉球の南部にも分布するとされてしばらくはそれで済んでいたが、1956年に琉球南部のものはアリサンアイとは異なるとして別種セイタカスズムシソウ *S. glandulifera* Hatusima とされた。葉の形が異なり、萼片が長いことが主な区別点とされている。学名に *glandulifera* とあるように、花序軸、包葉、萼片に腺毛があるが、これは個体によって変異が多く、腺の無い毛をもつものから、無毛のものまで色々である。アリサンアイにも同じ変異が見られる。

セイタカスズムシソウの葉の形は非常に変化が大きく、一般には卵状長楕円形で10-20 cm と大きい、しばしば卵形で3-5 cm と小さいものも見られる。本部半島の嘉津宇岳には卵状長楕円形の大きな葉を持つ個体が多いが、それを栽培すると卵形の小さな葉のものになって別物の様に思える。環境条件でかなり変化するものと思われる。萼片は花期には7-8 mm であるが、果期には20 mm 程にも長くなって目立つ。このことはアリサンアイでも同じである。アリサンアイとセイタカスズムシソウとは区別できないように思われる。同一種類として扱うのが妥当であろう。

オキナワスズムシソウは葉の形、萼片の形はアリサンアイやセイタカスズムシソウとの間に差異が見い出せない。前者の方がやや葉が小型の傾向があるが、セイタカスズムシソウの葉の変異の幅からすると異なるとはいえない。萼片は無毛であってセイタカスズムシソウの様な毛のあるものは見